

# 松平定信

南湖公園を築造



福島県立博物館蔵

## 二人の偉人がつなぐ 南湖の歴史

南湖は、白河藩主・松平定信により、身分を越えて誰もが楽しめる「士民共楽」の理念のもと、享和元年(1801)に築造されました。当時の庭園は、城内や大名屋敷内などに造られ、庶民は立ち入ることができませんでしたが、南湖は垣根を設けず、いつでも誰でも訪れることができたものでした。「南湖」という名称は、唐の詩人・李白の詩「南湖秋水夜煙無」からと、小峰城の南側に位置していたことに由来するといわれています。

また、南湖は行楽だけでなく、湖水はかんがい用水、水練・操船訓練として利用され、造成工事は領民の救済事業としての性格を持っていました。

湖水面積は 17.7ha、周囲は約2km あり、那須連峰や関山を借景に、松、吉野の桜、嵐山の楓が植えられ、四季折々の景色を楽しむことができます。

### 名君・松平定信

江戸幕府8代将军吉宗の孫で、26歳で白河藩主となった定信は、天明の大飢饉の際、領民を救う食料援助策により白河藩から飢饉による死者を一人も出さなかったといわれています。白河藩政の手腕が評価され、11代将军家斉のもとで老中となり、寛政の改革を行い幕政の立て直しに尽力しました。

また、和歌や書、茶道などに秀でた定信は、文化人としても大きな足跡を残しています。



共楽亭



松風亭 蘿月庵



翠楽苑

定信が、眺めの良い鏡の山のすそ野に建てた茶室。鴨居や敷居を無くした間取りは、まさに「士民共楽」を体現したものです。

白河藩士・三輪権右衛門が建て、定信も好んだとされる萱葺の茶室。「蘿月」とは、ツタの葉の間から見える月のことです。

定信の築庭理念が引き継がれた池泉回遊式日本庭園。書院造の「松楽亭」では呈茶が楽しめるほか、茶会などにも利用されています。

### 南湖十七景

定信は南湖に17の景勝地を定め、親しい公家や大名にこれらを題名とした和歌や漢詩を依頼しました。※裏面「南湖公園MAP」で南湖十七景の位置を確認できます。

### 南湖十七景詩歌

- 1 関の湖  
見わたしりき 関のみづみ  
公家 近衛基前
- 2 共楽亭  
やまの 高ききも 隔なく  
共たのしき 円あすらしも  
白河藩主 松平定信
- 3 鏡の山  
湖のこもかみの 山なれや  
こころごころ 人しなればは  
白河藩主 松平定信
- 4 真萩か浦  
かひたす 波も路に よせかへる  
真か浦の 花さかりかな  
公家 芝山持重
- 5 鐘の岡  
ささの なみに浮める 花紅葉  
じききの 響秋の 音  
伊勢八田藩主 加納久周
- 6 月待山  
さむかみ 月まじ山の 雪り降て  
またのひかり そらにもめ  
公家 広橋伊光
- 7 月見浦  
たひあしし 出しはる影も 秋にすむ  
月かたらの なみのみれば  
公家 鳥丸實隆
- 8 常盤清水  
万代を 懸てむすは 深みとり  
とほの清水 たへぬ活に  
越後長岡藩主 牧野忠精
- 9 松風の里  
世のちりは よそにはへる 松風と  
この里人や 千代あくるも  
陸奥明倫藩主 小笠原長純
- 10 松虫の原  
ぬこも ゆきかさたて いく秋か  
めてみん千世を 松むの原  
秋田藩主 佐竹義和
- 11 下根の島  
せきのうみや 下根の島の 秋くれて  
月かきさゆる あしのむら  
相模小田原藩主 大久保忠真
- 12 御影の島  
神のます みかのしもの 松か根に  
とはにそよぶ なみの白ゆふ  
越前丸岡藩主 有馬徳純
- 13 千世の堤  
陣屋に ゆるかぬ千世の 堤なり  
くにをりける すかたなりけれ  
下野空野藩主 堀田正教
- 14 小鹿山  
をしか山 月にはなれし つもひの  
ころやみかき 関のみづみ  
備後福山藩主 阪部正頼
- 15 八聲村  
明ぬきの 夢や響と 藤つし  
やこえのむらに 行かましを  
三河刈谷藩主 土井利徳
- 16 有明崎  
し川の 関のやま風 ふくよしの  
月かけてらす 有明かさき  
公家 広橋寛定
- 17 千代の松原  
立ならふ みことりの色の さかへつ  
す限りなきま ちよの松原  
公家 三條実良



国指定史跡・名勝 南湖公園

### 松平定信を敬愛した渋沢栄一

起業家として知られる渋沢栄一は、福祉事業・教育機関の設立などにも熱心に取り組みました。これらの社会事業は、定信が寛政の改革の際に創設した七分積金の恩恵であること、また、吉祥院歡喜天願文に記された定信の執政就任に対する覚悟を知り、渋沢は定信を敬愛するようになりました。

天寿をまっとうするまで50年以上も院長を務めた福祉施設「養育院」への出勤日は定信の月命日とし、定信の伝記「楽翁公伝」を出版したことから、尊敬の念の深さを知ることができます。

### 南湖神社創建へ

定信を祭神とする南湖神社創設にあたり、渋沢は楽翁公奉祀表徳会の総裁として神社設立認可への政治的活動、多額の寄付をはじめ、著名な画家による日本画の奉納・南湖神社標柱の揮毫などを行いました。大正11年(1922)の鎮座祭にも参列しています。

### ●南湖神社宝物館(要予約・有料)

定信直筆の書や渋沢が奉納した書画、貴重な書物などが展示されています。



▲橋本永邦「桜」(渋沢栄一奉納・南湖神社所蔵)



▲下村観山「楓」(渋沢栄一奉納・南湖神社所蔵)

# 渋沢栄一

南湖神社創建に尽力



2021年 南湖築造220周年(1801年築造)  
2022年 南湖神社創建100周年(1922年創建)  
2024年 渋沢栄一 新紙幣1万円札発行予定  
■写真:渋沢史料館所蔵



ひと足の  
のびして



## 南湖森林公園【なんこしりんこうえん】

南湖神社脇の道を徒歩で登ると、市民が中心となって作った南湖森林公園があります。芝生広場や整備された遊歩道で自然を思いっきり楽しもう！  
※車で通り抜けはできません。「南湖森林公園駐車場」側へお回りください。



## 南湖神社【なんこしんじや】

大正11年(1922)、近代日本経済の父・渋沢栄一の援助のもとに創建されました。松平定信を祀る神社で、定信が非常に学問に長けていたこと、男女の縁を取り持っていたことから、「学業成就・縁結びの神」としても有名です。



## 季節限定の御朱印をいただく



**染翁桜**  
南湖公園築造当時、定信によって植えられたと伝わる樹齢200年の御神木です。



## 名物「南湖だんご」

あん・みたらし・ごま・ずんだなど、お店ごとにこだわった自慢の味を楽しめます。お土産には、箱いっぱいにあんが詰まった折り箱がオススメ。



オリジナルブレンドコーヒーやケーキが楽しめます♪

## 魔法のランプ



## Lamp Cafe



明治時代に建てられた西白河郡役所を移築・復元した明治記念館内のカフェ。まるでタイムスリップしたかのようなレトロな雰囲気味わえます。

## SHOZO SHIRAKAWA



カフェ好きなら一度は訪れたい人気カフェ「SHOZO」。テラス席では、湖を眺めながらゆったりとした時間を過ごせます。

## kitchen dining itte-micca



## 交通アクセス

車：東北自動車道白河ICから15分  
白河中央スマートIC(ETC専用)から15分  
駐車場：無料250台(大型駐車場あり)

鉄道：JR東北新幹線・東北本線  
新白河駅からバス10分「南湖公園」下車

## 定価お釣りのインスタ映えスポットかも？ 南湖十七景

- |         |          |           |
|---------|----------|-----------|
| 1. 関の湖  | 7. 月見浦   | 13. 千世の堤  |
| 2. 共楽亭  | 8. 常盤清水  | 14. 小鹿山   |
| 3. 鏡の山  | 9. 松風の里  | 15. 八聲村   |
| 4. 真萩か浦 | 10. 松虫の原 | 16. 有明崎   |
| 5. 錦の岡  | 11. 下根の島 | 17. 千代の松原 |
| 6. 月待山  | 12. 御影の島 |           |
- ※和歌は表裏をご覧ください。

- 凡例
- 茶屋
  - カフェ
  - 飲食店
  - 無料駐車場
  - トイレ
  - ラーメン店
  - 雑貨店
  - 旅館
  - ピュースポット

国指定史跡・名勝

# 南湖公園MAP



散策はここからスタート！  
1周約2km、散歩やジョギングにも  
ちょうど良いコース。

## 白河料亭 花文

いつかは訪れたい料亭「花文」。南湖の歴史を感じながら会席料理がいただけます。

## 南湖公園魅力発信事業実行委員会

### 白河市観光課内

〒961-8602 福島県白河市八幡小路7番地1  
TEL.0248-22-1111 FAX.0248-24-1844  
✉ kanko@city.shirakawa.fukushima.jp

福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)